

北の大地で酪農青年と交流しませんか

～北海道別海町で開催される「菊と緑の会」 独身女性の参加者を募集～

枚方市の友好都市・北海道別海(べつかい)町は、今年も酪農青年と独身女性との交流会「菊と緑の会 in べつかい」を開催する。今回は、10月6日(金)～9日(月・祝)の3泊4日で開催予定。同町では独身女性の参加者を募集している。

★北海道東部に位置する別海町は、広大な原野を利用して約11万頭の乳牛が飼育され、牛乳をはじめバター、チーズの生産など日本屈指の酪農郷として知られている。東はオホーツク海に面し、サケ、マス、ホタテ、北海シマエビなどの漁業も盛んで、豊かな自然と資源に恵まれた土地。面積は、1319.63平方キロメートルで、人口は約1万5千人。酪農に585戸、漁業に352戸が携わっている。

★別海町では1970年代から酪農後継者のパートナー不足が深刻化。同町の男性と結婚した枚方市出身の女性(神部久美子氏 昭和49年6月結婚)が、里帰りの際に枚方市役所を訪問し「酪農の楽しさと後継者のパートナー不足」を訴えたのを機に、枚方市と同町が協力し、昭和59年に初めての交流会となる「菊と緑の会」が開催された。以来、交流会は毎年開催され、これまでの39回で648人の女性が参加し、このうち95組のカップルがめでたくゴールインしている。

★別海町の男性と結婚した女性たちは、「牛の世話は大変だけれど、素晴らしい自然の中で家族と一緒に働けることに魅力を感じた」「人情あふれる温かな町の様子が、別海町での生活を決心させた」などと、交流会に参加した感想を話している。

★40回目を迎える今回の交流会では、雄大な自然の中で、酪農研修牧場での酪農体験など、酪農青年や地域の人と交流を図っていく予定。

★こうした交流会がきっかけで、枚方市は別海町と昭和62年2月に友好都市提携を結んだ。枚方市では、同会のほかにも、中学生が隔年で夏休みに互いのまちを訪問する「少年少女ふれあいの翼」や枚方市友好・交流都市物産展など別海町との交流の輪を広げている。

★参加費用は3万円。募集要項・参加申込書の請求は、住所・氏名・電話番号および「菊と緑の会」資料請求と記し、はがきかファクス、もしくは電子メールで、枚方市観光交流課へ。電話請求可。また、市ホームページからの取り出しも可。応募方法は、参加申込書を郵送で同課へ。8月10日消印有効。募集10人。参加者説明会を9月に実施予定。

★「菊と緑の会」 過去の参加者より

令和3年度38回「菊と緑の会 in べつかい」に参加。

「菊と緑の会」でカップルとなり、その後お互いに行き来して交際を続け、令和4年11月に結婚。

男性 内藤 俊（ないとう しゅん）（34歳）

経営概況 総所有地 160ha 乳牛頭数 150頭（成牛 80頭・育成 70頭）

女性 （吉澤） 亜祐（よしざわ あゆ）（29歳）

亜祐さんのコメント：

「自然・動物が好き・美味しいものが食べたい。」と思い、菊と緑の会に参加しました。別海町の人たちはすごく優しく、とても楽しい4日間となりました。

ご縁に恵まれ内藤家に嫁ぎ、大阪から遠く離れる事で不安はありますが、様々な行事に参加して、たくさんの人と出会ったり、酪農について勉強したり、忙しいながらも毎日自然に癒され、牛たちと触れ合い、夜は星空を眺めながら楽しく過ごしています。

大阪の人たちに向けて、別海町、また酪農について発信できればと思っています。

★ 交流会の様子

溪流カヌー川下り体験の様子。（第38回）

酪農体験の様子。（第39回）

★参考

枚方市は国内外の都市と友好都市提携を結び交流を進めています。

【海外友好都市】

中華人民共和国 上海市 長寧区 《1987(昭和62)年12月提携》

オーストラリア連邦 クイーンズランド州 ローガン市 《1995(平成7)年3月提携》

大韓民国 全羅南道 靈岩郡 《2008(平成20)年3月提携》

【国内友好都市】

高知県四万十市 《昭和49年4月提携》

北海道別海町 《昭和62年2月提携》

沖縄県名護市 《平成9年7月提携》

この内容に関するお問い合わせは…

○枚方市役所 観光にぎわい部 観光交流課

〒573-8666

枚方市大垣内町（おおがいとちょう）2丁目1-20

電話 072-841-1221(代表) 内線 3842 E-mail sanbun@city.hirakata.osaka.jp

○別海町産業後継者対策相談所（別海町 産業振興部 農政課内）

電話 0153-75-2111 (代)